

学習の目的	Excelを活用したデータ分析の基本を学び、課題発見などのビジネス思考を鍛える。	
学習のGoal	<ol style="list-style-type: none"> 1. データ分析の目的と手法を確認し、ビジネスに活かす思考法を發揮する 2. Excelでのデータ分析の基本動作を体感して、その手法を身につける 3. Excelでのデータ分析による課題発見と見える化を学ぶ 	対象層 ・Excelの基本知識があり（関数で四則計算が可能）、データ分析の方法や考え方を理解し業務に活かしたい方

■ カリキュラム

時間	内容
09:30	オリエンテーション 1. データ分析の基本 ・データ分析の目的 ・データ分析と活用の違い ・データ分析の3ステップ 演習（ブレイクアウト） 2. データ分析の仮説検証 ・仮説検証の流れ ・ビジネス課題の抽出手法 ・データ収集のポイント 演習（ブレイクアウト） 3. Excelで学ぶビジネスデータ把握力 ・ビジネスデータで使う関数 ・レンジを把握する ・標準偏差を求める 演習（ブレイクアウト） 4. Excelで学ぶビジネス課題発見力 ・外れ値を検出する ・ヒストグラムの作成 ・データの標準化 演習（ブレイクアウト） 5. 各グラフ作成手法 ・基本的なグラフの作成 ・グラフ作成の注意点 ・グラフを用いた報告手法 演習（ブレイクアウト）
17:30	

講義の間に、身近な生活・仕事とIT&DXの関係を考える**演習**を入れることで、学習内容への理解を深め、DX推進の必要性を**自分ごと**と化します。

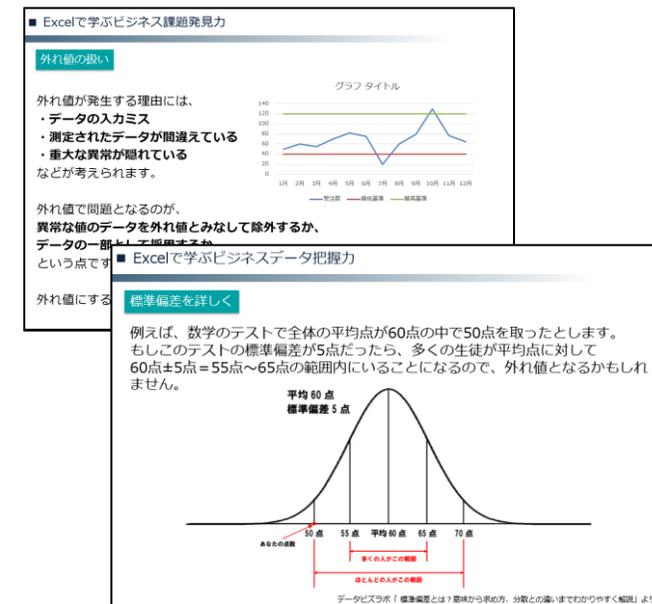
■ カリキュラムの特徴

1. データ分析の基本と、業務への活用 の方法がわかる

これからのDX対応で期待されるデータ分析の基本知識やスキルを一通り理解したうえで、具体的にどのように業務や意思決定の材料として活かせばよいかも知ることができます。

2. オンライン演習（ハンズオン型）で 実際に分析

Excelファイルを用いたデータ分析を実際に行います。各関数によるデータ分析と、その結果をグラフ化することでビジネスに活用する思考法を鍛えます。



Excelで学ぶビジネス課題発見力

外れ値の扱い

外れ値が発生する理由には、

- ・データの入力ミス
- ・測定されたデータが間違っている
- ・重大な異常が隠れている

などが考えられます。

外れ値で問題となるのが、異常な値のデータを外れ値とみなして除外するか、データの一部として扱って分析するか、という点です。

外れ値にする

標準偏差を詳しく

例えば、数学のテストで全体の平均点が60点の中で50点を取ったとします。もしこのテストの標準偏差が5点だったら、多くの生徒が平均点に対して60点±5点 = 55点～65点の範囲内になることになるので、外れ値となるかもしれません。

平均60点
標準偏差5点

50点 55点 平均60点 65点 70点

データビジネス「標準偏差とは？意味から求め方、関数との違いまでわかりやすく解説」より

※教材イメージ。内容やデザインは変更の可能性があります。

■ 開催概要

カリキュラム	1日（9:30-17:30） ※ 9:15～接続テスト
参加料（税込）	55,000円（税込/1名）
教材	PDFファイルをメールで提供

★開催日・申込URL <https://www.jmam.co.jp/hrm/course/onlinebizcall/deoa.html>

※カリキュラム内容は一部変更になる場合があります